

九州キリスト教社会福祉事業団 事業団だより

(発行)

社会福祉法人
九州キリスト教
社会福祉事業団

〒871-0162
大分県中津市永添2744
「いずみの園」内

電話 (0979)23-1616(代)

E-mail:
sogocare@deluxe.ocn.ne.jp

「世界一の長寿国・日本」

社会福祉法人

九州キリスト教社会福祉事業団

理事長 富永健司




2015年7月の厚労省の資料によると日本人の平均寿命は男性が80・50歳、女性は86・83歳となり世界一の長寿国となりました。1960(S35)年の平均寿命は男性65・32歳、女性70・19歳、さらにさかのぼって1947(S22)年は男性50・06歳、女性53・96歳でしたからこの68年間で男性が30歳、女性が33歳長寿化したこととなります。世界が目指す日本の長寿要因は医療や健康診断の進歩、国民皆保険、社会保障制度の充実、日本人の食生活、良好な栄養などが挙げられているようです。欧米諸国に比べて脂肪の摂取量が飛びぬけて少なく、魚や大豆製品の摂取も多い。カテキンやビタミンCが豊富な緑茶は動脈硬化や癌を防いでいるという説もあります。平均寿命、男性85歳、女性90歳という時代もそう遠くはないかも知れません。

最近、「2015年問題」、「2025年問題」という言葉がつかわれ研究されています。団塊の世代(S22)24生)が2015年に高齢期65歳に入り、2025年には75歳後期高齢期に達する年です。2015年の後期高齢者の人数1,646万人が2025年には533万人増えて2,179万人に達すると予想されています。高齢化率も今日の26・8%から30%を超えそうです。2000年にスタートした介護保険制度ですが、当初の財政3・6兆円が今日では10兆円を超える介護市場になり、サービス受給に多少のブレーキがかかるかもしれません。現在、国は制度の維持と高齢社会対策として「地域包括ケアシステム」の推進を図っています。「施設、病院から地域、在宅へ」「住み慣れた地域で最後まで」を motto に在宅、地域で受けられる医療

と介護の連携サービスの整備を目指しています。さて、高齢者とは何歳から言うのでしょうか。実はその定義はありません。国連、WHOが高齢化の国際比較のために統計用として65歳以上を高齢者としたのが始まりです。日本では、高年齢者雇用安定法は55歳から適用となり、厚生年金は当初55歳支給から現在は65歳支給に引き上げが進んでいます。高齢者医療保険は70歳ですが2008年には、75歳後期高齢者医療保険制度が発足しました。55歳以上を対象とした「高齢者とは何歳か」の意識調査(2012)では、75歳が28・7%、80歳が26・7%と合わせて半数を超えています。昨年6月の日本老年学会では「最新の科学データでは高齢者の身体機能や知的能力は年々若返り、10

信望愛



いずみの園 since1978

それゆえ、信仰と、希望と、愛、この三つは、いつまでも残る。その中で最も大いなるものは愛である。
コリントの信徒への手紙 I 13:13

いずみの園のサービス・コンセプト (私たちの取り組み)

- ① アメニティ(快適主義) 快適なサービス、快適な環境、笑顔のサービスを提供します。
- ② ヒューマニティ(人間主義) 心と体の自由を尊重、一人ひとりの尊厳性を大切にしたサービスの提供を行います。
- ③ ローカルティ(地域主義) 地域と共に歩み、地域の福祉拠点としての役割を果たします。



2毛作会外出行事

2毛作会しめ縄づくり

20年前に比べて5〜10歳は若返っていると思定される。このような人々が就労やボランティア活動など社会参加できる社会をつくるのが大切」と声明を出しました。いずみの園では昨年、団塊の世代を対象としたボランティアグループ「2毛作会」が発足しました。定年を迎えた人たちが子どもたちとお正月のしめ縄や竹とんぼを作ったり、デイサービスで食事介助をしたり2毛作目のやり甲斐を見つけていただいています。